

関東部会の取組ご紹介

新宅 純二郎

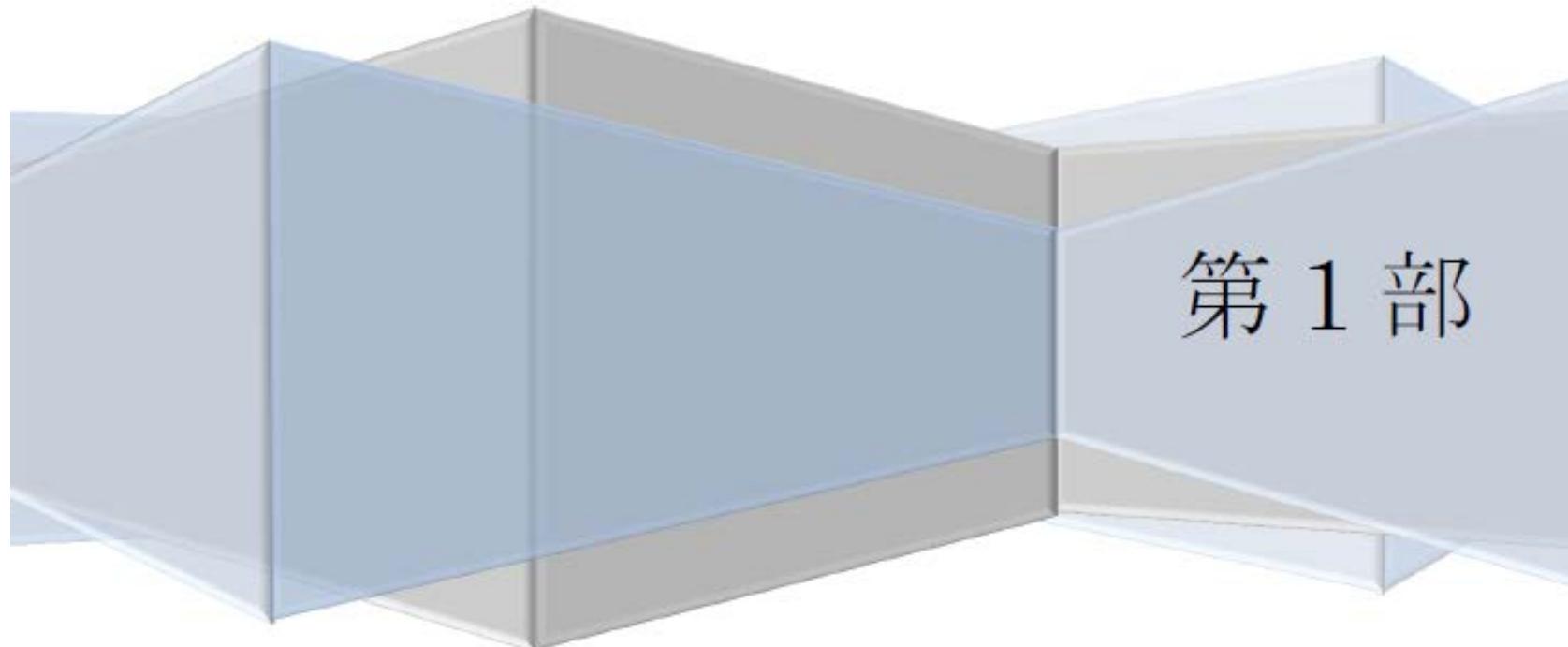
第83回 2015年9月19日（土） 14：00～17：00

「日本人研究者が国際化するには」

| | |
|-------------|--|
| 会 場 | 早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 4階 第四会議室 |
| 司 会 | 新宅純二郎(東京大学) |
| 登壇者 | 14:00-14:30 井口知栄(慶應義塾大学) 「国外の国際ビジネス関連学会とジャーナルとの関わり方」 14:30-15:00 眞井哲也(日本大学) 「日本の若手研究者の国際化における諸課題：私の試行錯誤」 15:00-15:30 淺羽茂(早稲田大学) 「国際学会を楽しむ」 15:30-16:00 磯辺剛彦(慶應義塾大学) 「シニアエディターからみた良い論文、悪い論文」 |
| 16:00-16:10 | 休 憩 |
| 16:10-17:00 | パネルディスカッション＆質疑応答 |

日本の大学で学ぶ研究者が 国際化するには

関東部会・学会誌編集委員会共同企画
国際ビジネス研究学会



磯部剛彦「シニアエディターからみた、良い論文、悪い論文」『国際ビジネス研究』2016秋号

- シニアエディターとして

- ① はじめに
- ② 先行研究レビュー
- ③ 仮説
- ④ 方法論
- ⑤ 議論

- 若い研究者に伝えたいこと

- ① 概念
- ② はじめに 問題意識
- ③ 研究テーマ call for paper
- ④ 手本とすべき論文
- ⑤ 研究チーム

第84回 2016年2月6日（土） 14：00～17：30

| | |
|--------------------|--|
| 第一報告 | 14:05-14:45 河野英子(横浜国立大学) 「『国際ビジネス研究』の編集状況について」 14:45-15:00 質疑応答 |
| 第二報告 | 15:00-15:40 大木清弘(東京大学) 「国内ジャーナルから海外ジャーナルへ： 査読コメントから学んだもの」 15:40-15:55 質疑応答 |
| 休憩(調整時間) 間) | 15:55-16:10 |
| 第三報告 | 16:10-16:50 浅川和宏(慶應義塾大学) 「私にとっての国際学会活動」 16:50-17:05 質疑応答 |
| 全体の質疑応 答 まとめ | 17:05-17:30 新宅純二郎(東京大学) |

大木清弘「国内ジャーナルから海外ジャーナルへ：査読コメントから学んだもの」

- I. 私の研究史：国内→英語→海外
- II. 査読コメントとはどのようなものか？
- III. 査読コメントから何を学ぶか？
- IV. 査読コメントにどう対応するのか？

第85回 2016年4月16日（土） 14：00-17：20

| | |
|------|--|
| テーマ | 「研究方法論ワークショップ」 |
| 第一報告 | 14:00-14:35 安田直樹(立教大学) 「国際ビジネス研究におけるパネルデータ分析」 14:35-14:55 質疑応答 |
| 第二報告 | 15:00-15:35 馬場一(関西大学) 「国境を越えて測定するための方法論」 15:35-15:55 質疑応答 |
| 第三報告 | 16:00-16:35 金熙珍(東北大学) 「科学的ケース・スタディの要件：IBトップ3ジャーナル掲載論文からの帰納的探究」 16:35-16:55 質疑応答 |

国境を越えて測定するための方法論

関西大学商学部 馬場一

- リサーチャーが直面する問題とその実例
- 比較可能性
- 新しい尺度開発の道筋
- 動態的な研究視座
- まとめと問題提起

科学的ケース・スタディの要件 ：IBトップ3ジャーナル掲載論文からの帰 納的探求

東北大学経済学研究科
金熙珍

研究方法

1. JIBS, MIR, JWB*の5年間の論文718本の電子ファイルを確認
→ 定性研究92本を選別



2. 92本のうち、20本の本文全体を精読しながら、共通してみられる項目を整理→9項目



3-1. 残りの72本の序論及び方法論部分を精読しながら、9項目の記述状況をエクセル表にチェック。

3-2. 9項目の記述内容及び特徴を整理

*DuBois & Reeb(2000)、Lahiri & Kumar(2012)によるIB分野のトップ3ジャーナル

「型」の存在

→海外と共にしたプラットフォーム上で定性研究を実行・議論する必要性

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 1. 研究 デザイン | 1-1. 定性的アプローチの妥当性及び特定の調査方法の選定理由 |
| | 1-2. 研究のコンテキスト及び対象の選定理由 |
| | 1-3. インタビュー対象の選定基準と選定のプロセス |
| 2. データ収集 | 2-1. データの三角測量(Triangulation) |
| | 2-2. データの記録方法の客觀性及び定型性 |
| | 2-3. インタビュー・プロトコル(ガイドライン) |
| 3. データ分析 | 3-1. データ分析の方法とプロセス |
| | 3-2. コーディング・ツール |
| | 3-3. 分析やコーディング結果の妥当性・信頼性チェック |

*しかし、9つの項目全てを無理に取り入れる必要はない。

第86回 2016年7月16日（土） 14：00-17：30
関東部会 「研究ブラッシュアップ・セッション」

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 日 時 | 2016年7月16日(土) 14:00～17:30 |
| 会 場 | 東京大学本郷キャンパス 経済学研究科学術交流棟 小島ホール、3会場で9発表 |

- ・6月1日～16日：指定の申込書＆研究要旨(4枚以内)を提出
- ・6月下旬：発表者9名および2名ずつのアドバイザーの決定
- ・7月上旬：発表資料の提出(フルペーパーを添えても良い)
- ・7月16日：発表20分、コメント＋質疑40分

発表の完成度、コメントの内容は多様。
多くの共通した問題：研究のRQ、課題設定、リサーチギャップが不明確ないしは不適切。

第87回 2016年9月24日（土） 14：00-17：30
関東部会「共同研究マッチング・セッション」

| | |
|-------------|---|
| 日 時 | 2016年9月24日(土) 14:00~ |
| 会 場 | 早稲田大学早稲田キャンパス18号館 国際会議場 3階第3会議室 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-20-14 |
| 発表20分、質疑25分 | |
| 14:00-14:45 | 司会: 大木清弘（東京大学） 蔣 瑜潔(横浜国立大学大学院) 「中国と日本の企業経営の比較研究」 |
| 14:55-15:40 | 司会: 白井哲也（日本大学） 内野敏彰(みずほ証券) 「中国企業によるM&Aと『中国的経営』に関する研究」 |
| 15:50-16:35 | 司会: 朴 英元（埼玉大学） 菅原秀幸(北海学園大学) 「Paradigm Shift in the 21st century boosted by AI: PCO(Payed, Closed and Occupied) to FOS(Free, Open and Share) paradigm」 |